



# 本康歯科ニュース



世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！と思ってもらえる歯科医院をめざして！

## 3歳までにむし歯菌に感染しなければ、一生むし歯にならないの？

歯がはえる前の乳児の口に、むし歯菌は感染できません。むし歯菌は歯がないと生息できないからです。注意したいのは、生後1歳半～2歳半の頃。「感染の窓」と呼ばれるこの時期は、むし歯菌に感染しやすいので気をつけなければなりません。では、「感染の窓」を過ぎて3歳までにむし歯菌に感染しなければ、一生むし歯にならないのでしょうか？

口の中では、“口腔細菌フローラ”がつくられ、500種類以上の細菌が生息しています。数多くの調査で、むし歯をもつ子供は、ミュータンス菌(代表的なむし歯菌)が口腔細菌フローラの30%を超えていることがわかっています。つまり、口腔細菌フローラの中でミュータンス菌が増えると、むし歯になりやすくなるということです。

健康な大人の口腔細菌フローラでは、外から来た細菌は簡単には口の中に生息できません。ただ、なかなか予約がとれない人気のレストランでも、何らかの理由で空席ができれば入店するチャンスがありますよね。それと同じで口腔細菌フローラでも、乱れた食事や環境変化など条件がそろえば、むし歯菌にとって感染するチャンスになります。

子供のむし歯を防ぐためには、まずは生後1歳半～2歳半頃の「感染の窓」の時期に注意しましょう。そして次に注意したいのは、6～12歳頃。この時期は「第二の感染の窓」と呼ばれ、乳歯から永久歯にはえかわり、口腔細菌フローラに大きな変化が起こるので、むし歯菌に感染する可能性があります。つまり、3歳までにむし歯菌に感染しなくても、将来的にむし歯菌に感染する可能性はあり、食生活やオーラルケアが疎かになれば、むし歯にはなってしまいます。歯がはえてから3年程度は、歯が未成熟です。乳歯は2～5歳、永久歯は7～15歳が特にむし歯になりやすい時期なので注意しましょう。

あなたも「**歯科通**」になれる？

歯医者が出題する

## “**歯とお口**”のクイズ

むし歯や歯周病の予防には、毎日のお口のケアが大切です。ケアの基本は歯みがきですが、ブラッシングだけでは歯垢を約6割しか除去できません。そのため、より効率的に歯垢を落とすには、歯間クリーナーと呼ばれる**フロス**や**歯間ブラシ**を併用する必要があります。そこで今回はこんな問題を出題！



一般的に歯間クリーナーの使用率はどの位でしょうか？

1 約5%

2 約25%

3 約45%

4 約60%

